

令和7年度  
事業報告書

社会福祉法人大田区社会福祉協議会

# 目次

実施状況		
I	令和7年度重点的取り組みの実施状況	1
II	会計区分ごとの実施状況	
社会福祉事業区分		
1	法人運営	3
2	地域福祉事業	14
3	在宅福祉事業	19
4	ボランティア活動推進事業	22
5	助成事業	26
6	生活福祉資金貸付	27
7	受験生チャレンジ支援貸付	28
8	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付	28
9	特別貸付	29
10	地域福祉権利擁護事業	30
11	福祉サービス利用支援	30
12	成年後見	31
13	リーガルサポート	35
14	おいじたく	36
15	重層的支援体制整備事業	37
16	歳末たすけあい運動事業	39
公益事業区分		
17	高齢者等就労支援事業	40
18	要介護認定調査事業	41
収益事業区分		
19	緊急通報サービス紹介事業	41

# I 令和7年度重点的取り組みの実施状況

## 1 第7次大田区地域福祉活動計画(リボン計画)の推進

第7次大田区地域福祉活動計画(リボン計画)の具体的な取組を進めるため、令和7年度の住民懇談会は、「顔見知り」の一步先へ進むには？」を話し合いのテーマとして意見交換を行いました。

### 【住民懇談会の開催】

地域	日時・会場	グループ数	参加者数
大森地域	【日時】7月27日(日)14時～16時 【会場】入新井集会室大集会室	4グループ	13人
糀谷・羽田地域	【日時】7月29日(火)14時～16時 【会場】羽田地域力推進センター会議室	2グループ	9人
蒲田地域	【日時】7月31日(木)18時～20時 【会場】大田区社会福祉センター4階会議室	5グループ	24人
調布地域	【日時】8月1日(金)14時～16時 【会場】調布地域庁舎1階会議室	4グループ	24人
合計			70人



住民懇談会の様子

## 2 大田区社会福祉協議会経営計画の着実な推進

経営計画の着実な推進を目指し、様々な取組を行いました。

### 【経営計画にかかる主な取組(プロジェクト等)】

#### (1) 区との勉強会の開催

大田区福祉部福祉管理課の担当係長と経営計画・事業評価合同プロジェクトメンバーによる勉強会を開催しました。特に令和7年度は通常のメンバーに加え、区内の特別出張所副所長や区子育て支援課、地域福祉コーディネーターを交えての拡大版勉強会を開催し、区と社協との更なるパートナーシップを築くことができました。

#### (2) 事業評価の仕組みの整備

経営計画の経営戦略2 未来を見据えた組織経営基盤の強化 事業戦略9 社会情勢を見据えた柔軟な事業展開の②に基づき、経営計画・事業評価合同プロジェクトの取組みとして、事業の進捗管理や説明責任の向上、職員の意識改革を目指した事業評価の仕組みを整備しました。今後は令和7年度実施事業の評価に取り組みます。

### 3 地域福祉コーディネーターの活動

区の基本圏域(大森、調布、蒲田、糀谷・羽田)を単位として、各基本圏域に3~4名の職員を配置し、計15名の体制で業務を進めました。

#### (1)個別支援について

この1年間で、338件の相談を受けました。対応件数は2,061件で複数回対応するケースが多いことが分かります。関わりの内容としては「傾聴・課題整理」が約5割を占め、複合的な課題の整理に時間がかかることが推察されます。

#### (2)地域支援について

地域支援は地域住民等が連携・協働して、ささえあいの地域をつくるのがねらいです。そのための第一歩は、訪問を通して地域の各団体等と良好な関係を築くことです。

令和7年度は、2,405件の活動を行いました。そのうち、主な活動として地域課題を話し合う場の設定や、居場所の立ち上げ支援、食による支援のしくみづくりを行いました。

#### 【令和7年度に行った主な地域支援】

若者支援の居場所イベントの実施	地域の話し合いの場の立ち上げ
商店街での外国籍住民向けイベント	児童養護施設等の連絡会の立ち上げ
社会福祉法人によるフード支援のしくみづくり	居場所の立ち上げの相談



※地域福祉コーディネーターの具体的な取組については、37、38ページにまとめております。

### 4 福祉教育の推進

福祉についてともに学び・ともに考える『福祉教育の推進』。誰もが自分らしい生活を実現するためには、地域の中に「共に生きる」という意識を住民同士が共有することが大切です。そのためには、世代や属性を問わず、自分たちの地域のあり方や福祉課題に目を向け、理解を深めることが求められます。

令和7年度は、福祉体験学習用器材貸出のほか、福祉体験学習開催の支援を26回行い、地域の団体、地域住民、福祉の専門職とともに福祉教育プログラムを実施しました。また、福祉教育セミナーを開催し、大田区における児童福祉教育の取組を知ってもらう機会を作りました。



小学校での福祉教育の様子



福祉教育セミナーの様子

※福祉教育の推進については、22ページにまとめております。

## Ⅱ 会計区分ごとの実施状況 《社会福祉事業区分》

### 1 法人運営

#### 1 運営管理

##### (1) 理事会開催状況

第 1 回		
開催日時	令和7年5月20日(火) 13時30分～14時50分	
会場	大田区社会福祉センター4階会議室	
議案の内容	議案	内容
	第1号議案	次期役員候補者について
	第2号議案	評議員候補の推薦について
	第3号議案	評議員選任・解任委員会の選任について
	第4号議案	令和6年度事業報告について
	第5号議案	令和6年度決算について
	第6号議案	令和7年度資金収入支出予算(第一次補正)について
	第7号議案	ハラスメント防止に関する規程の策定について
	第8号議案	職員就業規則の一部改正について
	第9号議案	専門職員・契約職員・業務補助員の就業規則の一部改正について
	第10号議案	嘱託職員就業規則の一部改正について
	第11号議案	育児・介護休業に関する規程の一部改正について
	第12号議案	役員等賠償責任保険契約(更新加入)について
第13号議案	令和7年度定時評議員会の招集について	
事務局報告等	1	大田区社会福祉協議会経営計画について (令和6年度取組状況の報告)

第 2 回		
開催日時	令和7年6月5日(木) 15時～15時35分	
会場	大田区民ホールアプリコ 地下展示室	
議案の内容	議案	内容
	第1号議案	会長・副会長・常務理事の選任について
事務局報告等	1	住民懇談会の開催について

第 3 回 (決議の省略)			
決議があったとみなされた日		令和7年9月 24日(水)	
議 事 の 内 容	議 案	内 容	同意の可否
	第1号議案	評議員候補者の推薦について	同 意
	第2号議案	理事候補者について	同 意
	第3号議案	評議員選任・解任委員会委員の選任について	同 意
	第4号議案	育児・介護休業規程の一部改正について	同 意
	第5号議案	職員就業規則の一部改正について	同 意
	第6号議案	契約職員就業規則の一部改正について	同 意
	第7号議案	嘱託職員就業規則の一部改正について	同 意
	第8号議案	安全衛生管理規程の一部改正について	同 意
	第9号議案	職員給与規程の一部改正について	同 意
第10号議案	令和7年度第2回評議員会の招集について	同 意	

第 4 回			
開 催 日 時		令和7年10月31日(金) 10時30分～11時10分	
会 場		大田区社会福祉センター4階会議室	
議 事 の 内 容	議 案	内 容	
	第1号議案	評議員候補者の推薦について	
	第2号議案	職員勤務評定規程の一部改正について	
第3号議案	令和7年度歳末たすけあい運動の実施について		
事務局報告等	1	会長報告	
	2	常務理事報告 ① 令和7年9月11日大田区豪雨に係る対応状況について ② 福祉教育セミナー実施状況報告 ③ ボランティアのつどい2025について ④ 地域福祉フォーラムの開催について	

第 5 回		
開催日時	令和8年1月20日(火) 10時30分～11時10分	
会場	大田区民ホールアプリコ 地下展示室	
議事の内容	議案	内 容
	第1号議案	評議員候補者の推薦について
	第2号議案	評議員選任・解任委員会の選任について
	第3号議案	令和7年度歳末たすけあい運動実施報告について
	第4号議案	感謝状の贈呈について
	第5号議案	令和7年度第3回評議員会の招集について

第 6 回 (決議の省略)			
決議があったとみなされた日	令和8年3月17日(金)		
議事の内容	議案	内 容	同意の可否
	第1号議案	令和7年度第3回評議員会の開催について	同意

第 7 回			
開催日時	令和8年3月26日(木) 13時30分～14時30分		
会場	プラザ・アペア 2階ヴェレナ		
議事の内容	議案	内 容	
	第1号議案	理事の候補者について	
	第2号議案	職員就業規則の一部改正について	
	第3号議案	職員給与規程の一部改正について	
	第4号議案	経理規程の一部改正について	
	第5号議案	令和7年度資金収入支出予算(第二次補正)について	
	第6号議案	令和8年度大田区社会福祉協議会事業計画について	
	第7号議案	令和8年度資金収入支出予算(当初)について	
事務局報告等	1	会長報告	
	2	常務理事報告	

(2)評議員会開催状況

第 1 回 (定時評議員会)		
開催日時	令和7年6月5日(木) 13時30分～14時40分	
会場	大田区民ホールアプリコ 地下展示室	
議事の内容	議案	内 容
	第1号議案	次期役員の選任について
	第2号議案	令和6年度事業報告について
	第3号議案	令和6年度決算についてについて
	第4号議案	令和7年度資金収入支出予算(第1次補正)について
事務局報告等	1	大田区社会福祉協議会経営計画について(令和6年度取組状況の報告)

第 2 回		
開催日時	令和7年10月31日(金) 14時～14時30分	
会場	大田区社会福祉センター4階会議室	
議事の内容	議案	内 容
	第1号議案	役員の選任について
事務局報告等	1	令和7年度歳末たすけあい運動の実施について
	2	常務理事報告 ① 令和7年9月11日大田区豪雨に係る対応状況について ② 福祉教育セミナー実施状況報告 ③ ボランティアのつどい2025について ④ 地域福祉フォーラムの開催について

第 3 回		
開催日時	令和8年3月 26日(木) 15時～16時	
会場	プラザ・アペア3階リモナ	
議事の内容	議案	内 容
	第1号議案	令和7年度資金収入支出予算(第二次補正)について
	第2号議案	令和8年度大田区社会福祉協議会事業計画について
	第3号議案	令和8年度資金収入支出予算(当初)について
	第4号議案	新役員の選任について
事務局報告等	1	会長報告
	2	常務理事報告

### (3) 評議員選任・解任委員会開催状況

第 1 回		
開催日時	令和7年5月28日(水)13時30分～14時	
会場	大田区社会福祉センター4階会議室	
協議事項等	1	委員長・副委員長の選任について
	2	評議員の選任について

第 2 回		
開催日時	令和7年10月14日(火)13時30分～14時	
会場	大田区社会福祉センター4階会議室	
協議事項等	1	評議員の選任について

第 3 回		
開催日時	令和8年2月27日(金)13時30分～13時50分	
会場	大田区社会福祉センター7階多目的室	
協議事項等	1	委員長の選任について
	2	評議員の選任について

### (4) 各種委員会等開催状況

#### ① 大田区地域福祉活動計画推進委員会

		第 1 回	第 2 回
開催日時		令和7年5月26日(月) 10時～11時10分	令和7年12月8日(月) 10時～12時
開催会場		大田区社会福祉センター4階会議室	
審議事項	1	令和6年度評価について	令和7年度住民懇談会開催報告について
	2	計画の進行管理について	アンケートの結果報告について
	3		計画の進行管理について

#### ② 地域協議会

開催日時	令和7年5月26日(月) 11時20分～正午	
開催会場	大田区社会福祉センター4階会議室	
審議事項	1	地域の福祉課題に関すること等について

③助成金審査委員会

開催日時	令和7年6月24日(火) 10時～11時30分		
会場	大田区社会福祉センター4階会議室		
審議事項	1	令和7年度地域活動団体助成先の審査(73団体)	
	2	令和7年度「つどいの場」運営支援事業について	

④権利擁護業務推進委員会

開催日	主な協議内容	開催日	主な協議内容
4月23日	法人後見業務報告	10月24日	新規法人監督(市民後見人)受任案件・法人後見業務報告
5月23日	新規法人監督(市民後見人)受任案件・法人後見業務報告	11月21日	法人後見業務報告
6月23日	法人後見業務報告	12月19日	法人後見業務報告
7月18日	新規法人後見受任案件 法人後見業務報告	1月23日	法人後見業務報告
8月22日	法人後見業務報告	2月20日	法人後見業務報告
9月19日	法人後見業務報告	3月23日	新規法人後見受任案件 法人後見業務報告等
開催方法	原則として、毎月1回第3金曜日 18時30分からオンライン形式にて開催		

⑤市民後見活動推進部会(年4回 15時から開催)

開催日	主な協議内容	開催日	主な協議内容
6月10日	・令和7年度社会貢献型後見人養成講習関連(日程・カリキュラム等)について	11月11日	・社会貢献型後見人養成講習カリキュラムについて ・市民後見人・権利擁護サポーター養成講習募集説明会、市民後見人サポート連絡会報告
9月9日	・市民後見人交流会振り返り ・社会貢献型後見人養成講習フォローアップについて ・第9回成年後見制度等利用促進協議会(報告)	2月10日	・社会貢献型後見人応用講習受講者選考について ・社会貢献型後見人応用講習及び実務実習について ・令和8年度市民後見活動推進部会の日程
会場	大田区社会福祉センター4階会議室		

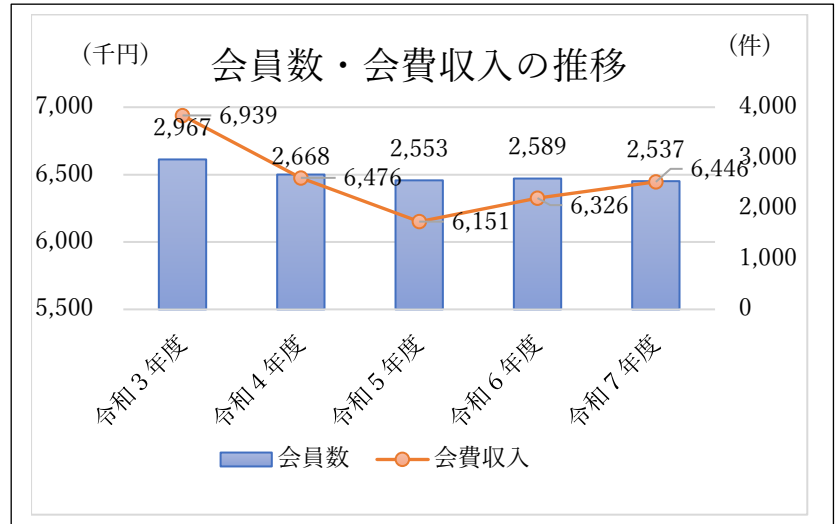
## 2 組織強化・企画広報

### (1) 会員について

大田区社協が推進する地域福祉活動において、社協会員は活動の基盤です。会員数は、個人と団体を合わせたものです。団体は、自治会・町会のほか、ボランティア団体、企業、NPO 団体等に加入いただいています。

《令和7年度における会員数と会費収入》

	会員数	会費収入
個人正会員	2,084	2,829,500
個人特別会員	23	382,000
団体賛助会員	80	244,000
団体特別会員	262	2,676,000
施設会員	88	315,000
合計	2,537	6,446,500



### (2) 寄附金収入の状況

寄附金は、地域福祉活動を推進するための資金として活用しています。近年は、遺言によるものや企業等からご寄附をいただくことが増えてまいりました。

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額	26,757,934	4,666,045	13,933,914	5,538,673	17,868,595

### (3) さまざまな媒体を駆使した広報活動

#### ① 広報紙「おおた社協だより」の発行

新聞折込のほか、行政や福祉関係団体の窓口等でも配布しています。

	発行時期	発行部数	主な記事
第104号	2025.7	111,000部	災害時に助けあえる身近な地域の関係づくり
第105号	2025.10	111,000部	お互いを認めあい誰もが自分らしく暮らせるまちを目指して
第106号	2025.12	111,000部	誰もがいつまでも、安心して暮らせる地域へ
第107号	2026.3	111,000部	子どもをまんやかに、みんながつながる地域へ

#### ② 大田区社協パンフレットの発行

大田区社協のいろは 発行部数 10,000部

#### ③ ホームページ等

ホームページ年間アクセス数 150,573件

Xフォロワー数 1,915件



#### (4)「地域貢献型自動販売機」の設置

○設置台数 12台      ○販売本数 47,678本      ○手数料収入 747,313円

#### (5)職員の育成

令和7年度は、「経営計画の事業戦略12の取組③に基づき 研修を実施しました。ソーシャルワーカーとしての更なるスキルアップとチームワーク力の向上、そしてそれぞれが担当する業務のほか、組織の一員として必要な組織の規程や規則、財務状況・労務管理について学ぶことで、組織運営と福祉専門職の両側面で必要となるスキルの強化を図りました。

また、職員自身が研修の講師を担うことにより、ソーシャルワーカーに必要なプレゼンテーション技術の向上も合わせて目指すものとなりました。

	内容	時間
内 部 研 修	(1)新任職員研修	7時間
	(2)ソーシャルワーカースキルアップ研修	9時間
	(3)チームワーク向上研修	6時間
	(4)組織強化・権利擁護研修等	10時間
	(5)社会福祉運営管理研修	4時間
	(6)柔軟な働き方等労務研修	3時間
	(7)決算・財務分析研修	2時間
	計	41時間

#### 【内部研修の実施状況】

開催日時	対象	内容	講師
4月11日(金) 10:00~16:00	令和7年度 新規採用職員 区派遣職員	①入職にあたり志を確認し行動の機軸を定める ②人権は福祉の基盤 ③組織が果たす役割と個人としての働き	東京 YWCA ヒューマンサポート センター理事長 田島誠一氏
7月9日(水) 9:00~10:00 7月11日(金) 13:00~14:00 ※同一内容のため どちらかに参加	全正規職員 係長が参加 を必要と認め た契約職員	消費税計算のための基礎知識 ~インボイス制度の概要と付き合い方~	総務担当
8月18日(月) 13:30~16:30 8月20日(水) 9:00~12:00 ※同一内容のため どちらかに参加	全正規職員 係長が参加 を必要と認め た契約職員	①現場で役立つ実務のポイント~事例を通じて押さえる規程・要綱・法令等~ ②労務・休暇について ③会費・募金・寄附プロジェクトについて	①②庶務・計画担当 ③会費・募金・寄附プロジェクト委員会

9月1日(月) 9月2日(火) 13:00～15:00 ※同一内容のため どちらかに参加	全正規職員 係長が参加 を必要と認め た契約職員	①地域福祉コーディネーターの役割と事例 ②令和6年度決算の概要と会計に関する 基礎知識	①地域共生担当 ②庶務・計画担当
9月12日(金) 14:00～16:30	主任以上職員 法人協会員	社会福祉法人の地域における公益的な 取組の側面から考える地域の中でのつな がりづくり (大田区社会福祉法人協議会との合同開催)	山梨県立大学 高木寛之氏
9月29日(月) 13:30～16:00 10月2日(木) 9:30～12:00 ※同一内容のため どちらかに参加	全正規職員 係長が参加 を必要と認め た契約職員	地域福祉活動計画を「活かしたもの」にする ために社協職員ができることを考えよう	日本女子大学 黒岩亮子氏
10月10日(金) 14:00～16:30	主事職員 法人協会員	社会福祉法人の地域における公益的な 取組の側面から考える地域の中でのつな がりづくり (大田区社会福祉法人協議会との合同開催)	山梨県立大学 高木寛之氏
10月27日(月) 11月7日(金) 14:00～16:30 ※同一内容のため どちらかに参加	全正規職員 係長が参加 を必要と認め た契約職員	あらゆる立場の人にとっての人権を尊重し た意思決定支援について考えよう	東洋英和 女学院大学 石渡和実氏
11月27日(木) 11月28日(金) 13:00～15:00 ※同一内容のため どちらかに参加	全正規職員 係長が参加 を必要と認め た契約職員	①ボランティア担当における「包括的な 相談支援」とは？ ②「生活福祉資金と民生委員児童委員 ～3年に1度の一斉改選を控えて～」	①ボランティア担当 ②生活相談担当
12月17日(水) 12月19日(金) 13:00～15:00 ※同一内容のため どちらかに参加	全正規職員 係長が参加 を必要と認め た契約職員	①介護認定調査事業の運営における 「目標」と「課題」 ②大田区いきいきしごとステーション 事業概要	①認定調査担当 ②就労担当
2月26日(木) 2月27日(金) 13:00～15:00 ※同一内容のため どちらかに参加	全正規職員 係長が参加 を必要と認め た契約職員	①後見事業担当の業務について ～R7年度のトピックスを添えて～ ②後見推進担当の業務について ～R7年度のトピックスを添えて～ ③事業評価について	①後見事業担当 ②後見推進担当 ③経営計画・事業評価 合同プロジェクト
3月3日(火) 13:30～16:00 3月4日(水) 9:00～11:30 ※同一内容のため どちらかに参加	全正規職員 係長が参加 を必要と認め た契約職員	コミュニケーションの実践力を高めよう ～チームとあなたのためのコミュニケー ション研修～	アルファ医療福祉専門 学校 山本伸江氏
3月11日(水) 13:30～15:00	全正規職員 係長が参加を 必要と認めた 契約職員ガイ ドヘルパー	情報セキュリティ対策 (ガイドヘルパー現任研修・虐待防止研修兼任)	大田区総務部総務課 内部統制・情報セキュ リティ担当 長沢和彦氏



内部研修の様子

【地域福祉コーディネーター研修】

研修名	内容	回数
地域福祉 コーディネーター 研 修	講師:日本社会事業大学 菱沼幹男教授 内容:コンサルテーション(事例検討、地域活動について)	4回
スキルアップ 研 修	ファシリテーション研修	1回
	他自治体(江東区・府中市)地域福祉コーディネーター視察	2回
	重層的支援体制整備事業後方支援会議	1回
	大田区複合課題研修	4回
	地域福祉コーディネーター実地研修(文京区)	1回
	CSW 実践者養成研修	2回

その他、全国社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会にて開催される地域福祉コーディネーター養成研修に参加し、専門職としてのスキル向上に取り組んでいます。

(6)ソーシャルワーク実習の受入

実習生の受入れは、将来を担う福祉人材を育成するという社会的な使命とともに、組織のサービスの質を向上させ、住民の利益の向上に寄与することにもつながります。

職員自らが日頃の業務を客観的に捉え、整理する機会にもなることから、毎年職員全員の共通認識のもと、ソーシャルワーク実習の受入を行っており、令和7年度は7名の実習生を受け入れました。



社会福祉士資格を持つ職員へのインタビュー企画の様子

### 3 連絡調整その他

#### (1) おおた福祉ネット(大田区社会福祉法人協議会)

社会福祉法では、すべての社会福祉法人が、地域共生社会の実現の担い手として、その専門分野の枠を超えて、地域で公益的な活動に取り組むことが定められています。

区内では、社会福祉法人が連携協働するためのプラットフォームとして、「大田区社会福祉法人協議会」を組織して活動しています。

構成団体数	42 団体	高齢や障害等それぞれの分野から互選により選ばれた団体が、幹事を務めています。 <幹事団体>池上長寿園・大田幸陽会・大洋社・有隣協会・大田区社協
-------	-------	--

#### 【幹事会の開催】

		第 1 回	第 2 回	第 3 回
開 催 日 時		令和 7 年 5月 2 日(金) 13 時 30 分～15 時	令和 7 年 8 月 27 日(水) 10 時 30 分～正午	令和 8 年 2 月 2 日(月) 13 時 30 分～15 時
開 催 場 所		大田区社会福祉センター4階会議室		
審 議 事 項	1	7 年度加入法人状況について	ふくしのしごと市の開催について	全体会開催報告について
	2	幹事法人コアメンバー会議 開催報告	全体会ならびに福祉従事者 研修の開催について	ふくしのしごと市・福祉従 事者研修開催報告に ついて
	3	年間スケジュールについて		次年度の取組について
	4			イベント共催について

#### (2) ふくしのしごと市(社会福祉法人の合同就職面接会)

東京都社会福祉協議会やハローワーク大森とおおた福祉ネットで連携して、就職相談と面接を目的とした「ふくしのしごと市」を開催しました。

	摘 要
開 催 日 時	令和 7 年 10 月 25 日(土) 13 時～15 時 30 分
会 場	消費者生活センター大集会室
求 人 団 体 数	10 法人
来 場 者	37 名
採 用 者 数	2 名



ふくしのしごと市当日の様子

## 2 地域福祉事業

### 1 地域連携強化

#### (1)「つどいの場」運営支援事業

大田区社協では、サロン活動や居場所活動、こども食堂など、住民の自発的な意思に基づき、広く住民が参加できる地域福祉活動を「つどいの場」と位置付けて、運営に関する助言や活動費の助成、活動中のケガ等の補償制度への加入等を通じて、安定的な活動をサポートしました。

事業実施状況	
活動費助成	83団体
助成金額	2,945千円
補償制度加入	79,036名

#### (2)民生委員児童委員自主活動支援

地域の課題について、地区民生委員児童委員協議会(地区民児協)単位で取り組むための経費の一部を支援しました。

#### (3)大田区こども食堂連絡会

大田区社協は、区内でこども食堂を運営している団体で組織する連絡会の事務局として、大森、調布、蒲田、糀谷・羽田の4エリアから選出した幹事団体をサポートし、関係団体との連絡調整等の役割を担っています。連絡会を年3回、連絡会に向けた幹事会を年9回実施し、安全な運営、資金や食材確保等に関する情報交換、寄附された食材の配分等を行いました。区内のこども食堂は72団体(71か所、令和6年度より11か所増)、その活動内容は、食事の提供だけでなく、体験や学習の場、多世代交流など多岐にわたっています。大田区社協は新規こども食堂の立ち上げ支援等も行い、こども食堂のネットワークを広げています。



☆自治会や商店街、各種地域団体 延べ22団体  
 ☆組織内で取り組んでいる企業 延べ26社  
 ☆スーパーやコンビニ等店舗 18店舗



株式会社みずほ銀行 様



京急開発株式会社 様



キャノン株式会社 様



明治安田生命保険相互会社蒲田営業所 様



グランデュオ蒲田での  
 フードドライブイベント

多くの方のご協力により、令和7年度はご寄附いただいた食料品が、13トンを超えました(令和6年度より3トン減)。

### 「食」を通じてのささえあいのネットワーク

ご提供いただいた食品は、種類ごとに仕分け・整理を行っています。フードドライブの普及に伴い、寄贈食品の量が増えたことから、適切な管理のために多くの人手と時間が必要となりました。そこで、仕分け作業ボランティアを募集し、年間で企業延べ12社、個人延べ99名の方々にご協力いただきました。また、配送ボランティアとしても多くの方々に支えていただいています。



仕分けボランティア(個人)



配送ボランティア(フードバンク大田)

## 2 啓発・スキルアップ(福祉人材の養成)

### (1) 同行援護従業者養成研修(一般及び応用課程)

視覚障害者の移動時の安全確保や、視覚情報を提供するガイドヘルパーを養成する研修会(1回4日間)を年2回および応用課程(1回1日間)を年1回開催し、令和7年度は36名の方が修了しました。

この研修は実習を主体としており、基本動作の反復をはじめ、実際に街中に出て歩道での歩き方、バスや電車等公共交通機関での誘導方法等を練習しました。



バスの誘導方法の練習中

		日 程	修了者/定員
一 般	第1期	令和7年9月13.14.20.21日	12名/12名
	第2期	令和8年2月14.15.21.22日	12名/12名
応 用	第1期	令和8年3月14日	12名/34名

### (2) 現任研修(現役ガイドヘルパー対象の研修会)

区内で同行援護事業を行う事業所に勤務するガイドヘルパーと、令和4年度から令和6年度の同行援護従業者養成研修の修了者を対象として、年間2回の現任研修を行い、延べ18名の参加がありました。

1回目は、神奈川県視覚障害者福祉協会の鈴木孝幸理事長と福喜多恭子事務局長をお招きし、視覚障害者当事者やガイド同士での情報交換や、基本的な技術演習などをおこない、日頃の活動を改めて振り返りました。

2回目は、個人情報保護についての話をきき、個人情報を取り扱う際の注意点や情報漏えい事故対策について学びました。

現任研修は、区内の事業所3社と大田区社協でチームを作り、協力して研修を企画しています。



狭い通路を想定した演習の様子

### 3 地域共励

#### (1) 敬老の日お祝いメッセージカード贈呈事業

健康と長寿を祈念して、敬老の日の前後に、区の敬老祝金贈呈にあわせて、当社会福祉協議会からメッセージカードを贈呈しました。

対 象	人 数	内 容
100歳の方 最高齢の男女	244名	OTAふれあいフェスタの大田区社協ブースに来場された皆様が作成したお祝いメッセージカードを贈呈

#### (2) 児童見守り激励事業

地域社会全体で施設入所児童等に対し、季節の行事等を通じて、お互いに助けあう意識を高めていくことを目指して取り組みました。贈呈品に要する経費は、歳末たすけあい運動を通じてお寄せいただいた募金を活用しています。

趣 旨	内 容	実施状況
プ レ ゼ ント 贈	クリスマスに、母子生活支援施設と児童養護施設(4か所)で生活している児童等に贈呈。	合計92名 未就学児 27名 中学生 21名 小学生 32名 高校生 12名
入 学 祝 品 贈 呈	生活保護世帯で、小学校、中学校に入学する児童に祝品を贈呈。	合計79名 図書カード(10,000円)

### 4 子どもの生活応援ネットワーク事業

#### (1) 子どもと地域をつなぐ応援事業

大田区社協から子育て中の要支援世帯等へ、行政サービスの相談窓口や、子ども食堂や学習支援等地域活動団体が行うイベント情報等を、年間12回(1回あたり平均1,926世帯に発送)お届けしました。

利用団体より、「大田区の子どもたちにイベントを周知していただいたことで、多くの子どもたちがイベントを楽しみにしてくれていました。参加した子どもたちからも喜びの声が多く寄せられ、『つなぐ事業』を活用させていただいて良かったと感じています」との声をいただきました。



## 5 地域福祉活動団体支援事業

歳末たすけあい運動募金から配分される「地域福祉活動費」を活用して、幅広く地域福祉活動に取り組む民間団体を支援しました。

【実施状況】 ※助成決定後に1団体辞退

	助成の主旨	助成決定額	助成決定団体数
通年事業助成	年間を通じて行う地域福祉活動経費を助成	年間 10 万円以内	60 団体
イベント助成	地域福祉を目的とするイベント経費を助成		9 団体
トライアル助成	地域福祉推進のモデル的事業を新たに立ち上げる際の経費を助成	年間 20 万円以内	4 団体
助成の総額等		6,854,839 円	73 団体

### 【助成団体からのありがとうメッセージ】

#### ○小学生・中学生の学習支援団体

夕方から夜にかけて、子どもたちが学習に取り組むのをサポートしています。運動部に所属する中学生は、部活動の後で疲れていても頑張り、試験の前などは、自主的に早く来て勉強に励んでいました。勉強に遅れがちになった子や友人関係に悩む子もいましたが、保護者と共にサポートすることができ、地域のみなさまの応援のおかげと感謝しております。

#### ○音楽演奏ボランティア活動団体

高齢者施設や地域のイベント等での音楽演奏活動を行うことができました。私たちの活動で地域の方に楽しんでいただき、少しでもお役に立てればと思い活動いたしました。活動を通して、地域とのつながりを感じることができ、これからも微力ながら続けて行きたいと思えます。ありがとうございました。

#### ○学校に行きづらいこどもの居場所

設立当初は、コロナ禍でもあり、学校内の「居場所」も今のように充実していませんでした。来年度は校内の居場所整備に、さらに大幅な予算がつくと聞いています。学校に行きづらいこどもたちの居場所から、次のステージに移る時機なのかもしれません。

末筆になりましたが、社会福祉協議会はじめ、かけがえのないスタッフ、地域のみなさま等々、今年度も支えて下さって本当にありがとうございました。

## 3 在宅福祉事業

### 1 家事介護サービス等

有償家事援助サービス等は、住民の互助の精神を基調として、低額な料金で福祉サービス等を提供し、安定した在宅生活をサポートすることを旨とした活動を行っています。また、活動を支える担い手の方が安心して活動を継続できるよう、研修会や交流会等を開催しました。

#### (1) 絆サポート

介護保険制度に基づく「介護予防・生活支援サービス事業(訪問型)」や、産前産後の方、障害のある方を対象に、居室の掃除や買物代行、調理等のサポートを行いました。(謝礼30分/500円)

【実施状況】

○活動回数 6,964件



絆サポーター研修会の様子

#### (2) 助っ人サービス

電球の交換や、扇風機・暖房器具の収納等、短時間のちょっとした作業のサポートを行いました。(謝礼20分以内/300円)

【実施状況】

○活動回数 45件

#### (3) ほほえみ訪問事業【無料】

高齢の方や心身に障害のある方のご自宅へ、絆サポーターが月2回訪問し、安否の確認等を行いました。

【実施状況】

○利用世帯(実績) 75世帯



ほほえみごはん連絡会  
サポーターの皆様

#### (4) ほほえみごはん事業【無料】

絆サポーターが子育て世帯に月1回、食料をお届けしながら、子育てに関するサポートに取り組みました。

【実施状況】

○利用世帯(実績) 98世帯

#### (5) ご近所さん事業【無料】

ご近所さんサポーターが概ね1歳の誕生日までに毎月子育て世帯を訪問し、ちょっとした声掛けや地域の情報提供を行い、子育ての不安をやわらげ地域のつながりづくりを支援しました。

【実施状況】

○実施エリア 大森東地区、嶺町地区

○利用世帯(実績) 56世帯

## 2 車いす貸出

### (1) 車いす無料貸出

病気やケガなどによる緊急時や、余暇活動等で一時的に車いすを必要とする方に対して、最長2か月間無料で貸し出すサービスです。

年間で657件の利用がありました(月平均約54件)。

### (2) 車いすステーション事業

区内の企業等の協力を得て車いす無料貸出の拠点(車いすステーション)として、最長1か月間、無料貸し出しを行いました。

ステーションは区内に45か所あります。



## 3 生活援護

### (1) ささえあい食料支援(フードパントリー事業)

歳末たすけあい運動から配分される「地域福祉活動費」で購入した食料品や、フードドライブ事業でご寄附いただいた食料品を、緊急または一時的な事情により生活が困窮している世帯に、無償で提供しました。また、申請時に聴き取った内容により、地域福祉コーディネーターによる支援へつなげました。

#### 【実施状況】

- 利用世帯 643世帯      ○回数 995回
- 配布場所 大田区社会福祉協議会 窓口

### (2) 使用済み切手等を活用した食料支援

住民等から寄せられた使用済み切手や使用済インクカートリッジを整理売却して、白米1トンを購入する資金の一部に充当しました。

お米は、特定非営利活動法人グッドネーバース・ジャパンと協力して、ひとり親家庭(約500世帯)に配付しました。

#### 【実施状況】

- 売却益 212,389円



## 4 子どもの学習支援事業

### (1) おおたスマイルプロジェクト(れいんぼう事業)

区内の社会福祉法人(大洋社・池上長寿園・大田幸陽会)、民生委員児童委員協議会と連携して、「子どもの体験型学習支援」等に取り組みました。

ひとり親家庭の児童を対象として、学習や健康、職場体験などの様々な活動の中から、なりたい自分の将来像のイメージづくりをはじめ、基礎的な学力を高めるために漢字検定やパソコン検定にも挑戦して、資格取得に取り組みながら、「生きる力」の習得に取り組みました。

- #### 【実施状況】
- 活動回数 29回(参加者数 延172名)

## (2) 子どもの居場所づくり事業

### ① のびのび

区内に在住する小学生の不登校児童を対象に教育センター、NPO法人こあら村と連携して取り組みました。今年度からは、地域のボランティアさんにも協力いただきながら、子どもたちが楽しく、のびのびと過ごせるような場づくりを一緒に考えました。

秋には、NPO 法人昭和の暮らし博物館を会場としてお借りして、洗濯板を使った昭和の暮らし体験や七輪を囲みながら一緒に昼食づくりを行いました。非日常の時間を過ごすなかで、普段はコミュニケーションが得意でない子も、積極的に大人と話す姿や参加者同士も交流する姿や参加者同士も交流する姿が見られました。

#### 【実施状況】

- 実施回数 11回
- 参加児童数 延54名



七輪で食事をつくる様子



昭和の暮らし体験の様子

### ② わくわく

小中学校が長期休暇となる期間を活かして、暮らしの中で様々な課題を抱える家庭の小中学生を対象に夏は、ハワイアン体験、冬は横浜中華街へ行き、体験の機会を提供しました。昨年まで参加者だった子が、今年度はボランティアとして企画から参画するなど、子ども自身の変化も見られました。

参加した子どもからは「お友達が増えた」「また参加したい」等の声を聴くことができました。また、今年度は生活福祉課等の関係機関へ積極的な呼びかけを行ったことで、3名の新規参加があり、参加の様子を関係機関にフィードバックし、支援活動に活かしてもらうなど関係機関との連携した取り組みを行いました。



ハワイアン体験



中華街謎解き体験

#### 【実施状況】

- 実施回数 2回
- 参加者児童数 15名

# 4 ボランティア活動推進事業

## 1 ボランティア活動普及

### (1) ボランティア登録・需給調整・相談助言等

		人数等
ボランティア登録	個人	207名
	団体	157団体
ボランティア保険加入者数		4,604名

項目	実績
活動に関する相談等	291件
ボランティアの紹介依頼	61件
広報紙等への掲載依頼	96件

### (2) 広報紙等の発行

広報紙「ボランティアコミュニケーション」を、季刊で年4回(1回あたり約7,000部)発行し、行政機関、福祉関係団体、区内の金融機関や企業等の窓口で配布してボランティア活動の普及・啓発を進めました。

### (3) 夏体験ボランティア事業

夏の長期休みを利用して区内の福祉施設や地域活動団体等でボランティア活動ができる体験プログラムを作成し、小学生から大人まで多くの区民の方に参加いただきました。

#### 【実施状況】

- プログラム数 82件(65か所の施設と団体)
- 参加人数 181名(延べ人数267名)

### (4) 福祉体験学習開催の支援 = = = 福祉教育の推進 = = =

福祉体験学習用器材貸出のほか、福祉体験学習開催の支援を26回行い、地域の団体、地域住民、福祉の専門職とともに福祉教育プログラムを実施しました。

#### 【実施状況】

「高齢者疑似体験セット」、「妊婦体験セット」や車いす、白杖、点字器等の研修用の教材の貸出件数 98件

	福祉体験学習支援実績(人数)
小・中学校	21回(1,653名)
その他	5回(148名)



高齢者疑似体験

### (5)福祉教育セミナー＝＝＝福祉教育の推進＝＝＝

福祉体験学習を共に行った小学校、団体、当事者に登壇いただき、地域住民を対象とした「福祉教育セミナー」を開催し、大田区における児童福祉教育の取組みを知ってもらう機会を作りました。

- 日 時 令和7年9月23日(祝・火)
- 会 場 大森北四丁目複合施設 スマイル大森
- 来場者 76名
- 内 容 第1部 基調講演「共に生きる力」を育む  
講師 日本福祉大学 学長 原田 正樹  
第2部 パネルディスカッション



### (6)ユニバーサルスポーツ体験事業

ユニバーサルスポーツ用具(ボッチャ・カーレット)と講師をセットで、無料で派遣する事業を行いました。5名以上のグループからお申し込みを受け付けています。

#### 【実施状況】

	貸出実績(講師派遣)
ボッチャ	62回(20回)
カーレット	20回(6回)

### (7)災害ボランティアセンター運営強化等

区が策定している「地域防災計画」では、本会も区と連携・協働して災害ボランティアセンターの運営等に従事することとされています。近年、大規模災害への懸念が高まる中、災害ボランティア活動に関する普及啓発や人材の発掘・育成、災害ボランティアセンター運営体制強化が重要となっています。

#### 【実施状況】

##### ①講座・訓練等

目的	事業名	開催日時	会場	参加者 (運営含む)
人材 発掘 育成	災害ボランティア 育成講座～初心者編～	令和7年7月11日(金)	大田区社会福祉センター 4階会議室	34名

普及啓発	東蒲中学校 防災学習体験への参加	令和8年1月27日(火)	東蒲中学校	100名
運営強化	災害ボランティアセンター運営訓練	事前学習 令和8年2月5日(木)	大田区社会福祉センター 4階会議室	29名
		運営訓練 令和8年2月19日(木)	消費者生活センター 2階 大集会室及び多目的室	31名

## ②災害ボランティアバンク

区で災害ボランティアセンターを立ち上げた際に、実際に円滑に機能するように、ボランティアの情報等をあらかじめ登録する「バンク機能」があります。

登録者用LINEも開設しています。

○個人登録 123名      ○団体登録 6団体

## ③大田区災害ボランティアセンター運営協議会

区では、大きな災害が起こった場合、大田区・大田区社協・地域団体の三者が協働で「災害ボランティアセンター」を設置・運営するため、平時から三者が協働で事業を行い、また災害ボランティアセンター設置・運営について協議しています。

	開催日時	会場
第1回	令和7年4月23日(水)	大田区社会福祉センター 4階会議室
第2回	令和7年7月2日(水)	大田区社会福祉センター 4階会議室
第3回	令和7年10月6日(月)	大田区社会福祉センター 4階会議室
第4回	令和8年1月21日(水)	大田区社会福祉センター 4階会議室
第5回	令和8年3月19日(木)	大田区社会福祉センター 4階会議室

## ④災害ボランティア応援助成

災害救助法が適用された被災地において、災害ボランティア活動を行った区民に対し、現地までの交通費等の一部を助成しました。

○助成人数 18名      ○助成金額 278,192円

## ⑤令和7年9月11日大田区豪雨への対応について

大田区内で初めて記録的短時間大雨情報が発表され、家屋の浸水など多くの被害が発生しました。大田区社協は行政や地域のボランティアの方々と共に、主に上池台地区で被災した家具等の撤去などボランティア活動等支援を17件行いました。

## (8)企業の地域貢献活動との連携

「企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)」について、具体的な活動に取り組む企業と多様なスタイルで連携・協力しています。

### ①食品・物品のご寄附等

大田区社協とともに地域の課題を解決したいと考えてくださる企業・団体等から42件の食品・物品の寄附をいただきました。



生活協同組合パルシステム東京 様



(株)NTT データエンジニアリングシステムズ 様

### ②食品の仕分けボランティア

フードドライブで集まった食品を、食品のカテゴリー別に区分けする活動を行っています。2社(大国屋電気工業株式会社、株式会社エクシオテック)が毎月活動しています。

## (9)ボランティアのつどい 2025

大田区社協の各事業で活躍されているボランティア同士の横のつながりを構築するとともに、これからボランティアを始めようとする方へのきっかけづくりを行いました。

○日時 令和7年12月13日(土)

○会場 大森北四丁目複合施設 スマイル大森

○来場者 89名

○内容 第1部 「つながりサポーター養成講座」

講師 日本産業カウンセラー協会 清水 達也

第2部 ボランティア交流会・グループワーク



## 2 ボランティア活動に対する助成

### (1)食事サービス助成事業

区が定めた「大田区社会福祉協議会が行う食事サービス助成事業補助要綱」に基づき、65歳以上又は一定の障害認定を受けている方を対象として食事サービス活動を行うボランティア団体に経費の一部を助成しました。

#### 【実施状況】

○助成団体数 5団体

○助成総額 3,611,700円(8,356食分)

## 5 助成事業

### 1 障害者団体助成

#### (1) 心身障害者団体運営費助成

区から補助金を受けて、団体の運営経費に対して助成しました。

○助成実績 5 団体(総額 880,000 円)

### 2 地縁団体等助成

#### (1) シニアクラブ連合会助成

大田区シニアクラブ連合会による高齢者地域活動支援事業に対して助成をしました。

○助成実績 大田区シニアクラブ連合会 1 件(総額 820,000 円)

#### (2) 青少年対策地区委員会助成

歳末たすけあい運動募金を原資として、18地区の青少年対策地区委員会に助成しました。

○助成実績 18団体(総額 1,800,000 円)

### 3 施設・専門機関等助成

#### (1) 児童レクリエーション助成

児童養護施設が主催する入所児童に対するレクリエーション活動に要する経費を助成しました。

○助成実績 2施設(総額 650,000 円)

### 4 その他の助成

#### (1) 更生保護・その他の関係団体助成

「社会を明るくする運動」等について、経費を助成しました。

○助成実績 3 団体(総額 372,000 円)

## 6 生活福祉資金貸付

社会福祉法人東京都社会福祉協議会からの受託事業です。

民生委員児童委員と連携して、低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とした事業です。

○貸付相談延件数 2,724 件／償還相談延件数 1,051 件／貸付決定件数 84 件

資金の種類		件数	貸付決定金額
福祉資金		81	81,389,010 円
内 訳	教育支援資金※1	60	79,958,500 円
	生活保護世帯エアコン等購入資金	20	1,413,000 円
	生保受給者国民年金保険料経費	1	17,510 円
緊急小口資金※2		3	220,000 円
総合支援資金※3		0	0 円
不動産担保型生活資金		0	— 円
合 計		84	81,609,010 円

※1 教育支援資金の貸付決定金額には、翌年度以降の貸付額も含まれることがあります。翌年度以降の貸付は、在学(進級)を確認しながら分割で交付します。

※2・3 コロナ禍に起因する場合に限定した特例貸付でも同じ名称を用いて貸付が行われましたが、本表で示している貸付は、特例貸付とは異なる条件で行われている制度です。

### 生活福祉資金貸付制度の沿革

本制度は、戦後まもなく貧困世帯の「防貧」「自立更生」を図るため、全国の民生委員児童委員が取り組んだ「世帯更生運動」が原点となり、昭和 30 年に「世帯更生資金貸付制度」として創設されました。その後、時代のニーズに合わせて資金種類の充実が図られ、平成2年に「生活福祉資金貸付制度」に名称変更され、現在に至ります。

このような制度の発足経緯を踏まえ、社協と民生委員児童委員が車の両輪となって相談・支援を行います。

今日では、平成 27 年から施行された生活困窮者自立支援制度とも連携しながら、世帯の支援を行っています。

## 7 受験生チャレンジ支援貸付

区からの受託事業です。

一定所得以下の世帯の子供への支援を目的とし、中学3年生・高校3年生又はこれに準ずる方を対象に学習塾などの費用や高校・大学等の受験料の貸付申請を受け付けました。

高校・大学等に入学した場合、申請により、返済が免除(償還免除)となります。

○学習塾等受講料貸付金  
(中学3年生・高校3年生共通)  
300,000円(上限)

○受験料貸付金  
(中学3年生) 27,400円(上限)  
(高校3年生) 120,000円(上限)

【貸付実績】 貸付相談延件数 2,918件

	中学3年生	高校3年生	計
本年度	323件	229件	552件
前年度	313件	198件	511件

(内訳)

	中学3年生	高校3年生	計
学習塾等	158件	95件	253件
受験料	165件	134件	299件
計	323件	229件	552件

## 8 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付

社会福祉法人東京都社会福祉協議会からの受託事業です。

この貸付制度では、ひとり親家庭の親で、大田区(担当:各生活福祉課)が実施する訓練促進給付金の支給を受ける方を対象とした入学準備金・就職準備金の貸付と、母子・父子自立支援プログラムの策定を受け、自立を目指す方を対象とした住宅支援資金の貸付を行っています。本年度は、生活福祉課から2件の照会がありましたが、貸付要件を満たさず申請・貸付には至りませんでした。

	申請件数		
	入学準備金	就職準備金	住宅支援資金
本年度	0件	0件	0件
前年度	0件	0件	1件

❖以下の場合申請により返済が免除されます。

○入学準備金、就職準備金

養成機関を修了し、かつ資格を取得した日から1年以内に東京都内で就職し、取得した資格が必要な業務に5年間就業継続した場合

○住宅支援資金

貸付を受けた日から1年以内に就職、または、プログラム策定時より高い所得のところに転職等をして、1年間就業継続した場合

## 9 特別貸付

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯を対象とした特例貸付は、令和2年3月から同4年9月30日まで、2年6か月にわたり行われ、この間の区内における貸付決定件数は27,201件、貸付金総額は100億4,573万円に達しました。

令和5年1月から償還が開始されましたが、物価の高騰等により、引き続き借受人が置かれている状況であることから、償還開始当初より、免除決定者、未応答者及び償還困難者に区分したフォローアップ支援を実施しています。併せて、償還免除や償還猶予の要件の一部緩和が行われ、相談支援体制の充実が図られています。

さらに、東京都社会福祉協議会が実施したが長期滞納者に対する生活状況調査の大田区内の回答世帯(878世帯)に対しては、電話による個別対応を行い、各種相談や窓口の案内を実施しました。

令和7年度末の償還状況は、償還対象25,213件に対し償還完了件数は、2,956件、償還免除件数は8,581件となり、債務解消割合は、45.8%となりました。

このほか、償還困難者に対する償還猶予の適用は、453件であり、生活上の困難を抱える方に対しては、関係機関と連携の上、各種相談対応を行っています。

《償還状況等(R8.3.31)》

償還対象件数	25,213件
償還完了件数	2,956件
償還中件数	13,223件
償還免除件数	8,581件
償還猶予件数	453件

## 10 地域福祉権利擁護事業

軽い認知症や知的障害、精神障害があるものの、本事業の契約内容を理解できる状態の方と委任契約を結び、預貯金の払い戻しや福祉サービス利用料の支払い等を支援しました。

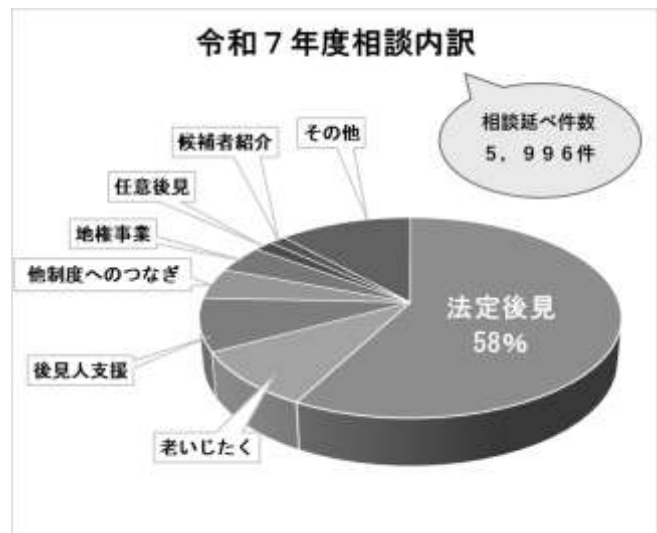
- 利用契約件数 42件(令和8年3月31日現在)
- 新規契約 7件
- 契約終了 5件(死亡3件、本人申出2件)

## 11 福祉サービス利用支援

### 1 利用者サポート

成年後見制度等権利擁護に関する相談や、遺言相続を含む老いじたく、死後の対応等関連分野に関する相談について、おおた成年後見センター窓口で対応しました。

相談内容は多岐に渡り、複雑化していますが、本人の意向・希望を確認しながら、本人主体の支援とチームの形成支援にも取り組みました。



### 2 専門職等による無料相談

日常生活の中の様々な法律問題や、公正証書を活用した遺言相続などについて、弁護士や公証人等の専門家や、経験豊富な相談員による無料の法律相談を、毎月定期的に行いました。

#### 【実施状況】

	相談員	開催日	活動実績
法律相談	弁護士	第1～4火曜日 10時～12時	開催回数 46回 相談件数 117件
公証相談	公証人	第3木曜日 10時～12時	開催回数 12回 相談件数 35件
精神障害者家族等電話相談	精神障害者家族連絡会	毎週土曜日 13時～16時	開催回数 51回 相談件数 151件

### 3 福祉従事者向け研修

成年後見制度利用促進に向けて、成年後見制度の正しい理解と「ノーマライゼーション」「自己決定権の尊重」等の理念に基づき、意思決定支援の基礎的な考え方の理解を深める研修を実施しました。福祉従事者として本人の意思決定に関わる際の支援のあり方やプロセスの重要性等を学びました。

#### 【実施状況】

日 時	内 容	受講者
令和7年7月25日(金) 14時00分～16時00分	支援者が知っておきたい「意思決定支援」 (基礎編)	20名
令和7年9月10日(水) 14時00分～16時00分	支援者が知っておきたい「任意後見制度」 (基礎編)	14名
令和7年11月6日(木) 13時30分～16時30分	支援者が知っておきたい「法定後見制度」 (基礎編)	15名

### 4 支払い代行サービス

身体的な事情により外出が困難な方と委任契約を結び、預貯金の払い戻しや福祉サービス利用料の支払い等を支援しました。

#### 【実施状況】

○契約件数 1件(令和8年3月31日現在)

## 12 成年後見

### 1 相談事業

#### (1) 窓口対応

- ①成年後見相談延件数 4,230 件
- ②弁護士等専門職団体への後見人等候補者紹介依頼件数 86 件

#### (2) 専門相談等

(公社)成年後見センター リーガルサポート東京支部(司法書士の団体)との連携による定期的な無料相談のほか、高齢者・障がい者のための相談会を実施しました。

#### 【実施状況】

	相談員	開催実績	備考
成年後見制度専門相談	司法書士	開催回数 29回 相談件数 46件	第1,2,4 木曜日 10時～12時
高齢者・障がい者のための成年後見相談会		令和7年9月6日(土) 相談件数 15組	(公社)成年後見センター リーガルサポート東京支部 と共催

## 2 権利擁護支援検討会議の開催

支援関係者が支援のあり方や後見利用の必要性の判断等に悩むケースに対して、福祉・法律の専門職による中立的な立場から多角的な視点で本人の権利擁護支援の必要性や適切な支援内容、チーム支援のあり方等について検討を行いました。

【実施状況】 開催回数 12回 相談件数 12件

## 3 広報啓発

### (1)パンフレットの配布等

パンフレット「ご案内します 成年後見制度などの権利擁護支援」、「成年後見手続きガイド(法定・任意)」などを関係機関窓口を通じて配布しました。

また、「おおた社協だより」では、成年後見制度の利用の有無に関わらず、お互いを認めあい誰もが自分らしく暮らせるまちを目指して、市民後見人の声などを紹介し、地域共生社会の実現や意思決定支援の大切さについて、周知を図りました。



### (2)出前講座

自治会・町会をはじめ、地域の様々な団体等の依頼を受けて、老いじたくや成年後見制度利用の進め方、遺言相続に関する事など、権利擁護に関する内容について、おおた成年後見センター職員を講師として派遣しました。また、地域包括支援センターや介護支援専門員等、福祉従事者を対象とした成年後見制度の勉強会にも講師として参加し、現場における課題等について、意見交換も行いました。

【実施状況】 派遣回数 15回

## 4 親族後見人等支援

### (1)親族後見人交流会

親族の成年後見人等に就任している方を対象に開催しました。

日頃の後見業務の中で生じる様々な不安や疑問について専門職から助言を得るとともに、後見人同士の意見交換を行いました。また、今後予定される成年後見制度法改正について、弁護士から話をうかがいました。



### (2)親族向け成年後見講座

親族で成年後見人等受任を検討されている方を対象に、後見業務の経験を持つ司法書士を講師として招き、成年後見制度の概要や手続きの進め方、後見業務の実際について学習しました。

【実施状況】

日 時	内 容	受講者
令和7年7月12日(土) 9時30分～12時30分	成年後見制度のしくみ/申立書の書き方 成年後見人の職務/裁判所への報告等	13名
令和7年10月18日(土) 9時30分～12時30分	任意後見制度	22名
令和8年3月7日(土) 9時30分～12時30分	成年後見制度のしくみ/申立書の書き方 成年後見人の職務/裁判所への報告等	16名

## 5 法人後見業務

【実施状況】

	令和6年度末	令和7年度 新規受任	令和7年度 受任終了	令和7年度末 受任件数	備 考
法定後見業務	16件	1件	3件	14件	
後見監督業務※	4件	2件	0件	6件	
任意後見契約	6件	0件	1件	5件	発効 4件

※ 東京都内では、社会貢献型後見人養成講習を経て、家庭裁判所から選任された成年後見人を、「社会貢献型後見人」と称しています。大田区社協は、社会貢型後見人の業務を監督する成年後見監督人に就任しています。

## 6 社会貢献型後見人(市民後見人)養成

成年後見人に必要な知識や姿勢を修得し、同じ地域に暮らす住民の目線で、本人に寄り添った支援を行うことのできる支援者の育成に取り組みました。

また、本年度から権利擁護サポーター養成講習も開講し、権利擁護の視点をもったサポーターの育成にも取り組みました。

### (1) 基礎講習

成年後見制度の正しい理解と本人主体の視点や意思決定支援の基本的理解など知識の習得を図りました。

【実施状況】 ○社会貢献型後見人修了者 14名

### (2) 権利擁護サポーター養成講習

権利擁護サポーター養成講習では、認知症や障がいに対する理解を深め、成年後見制度の基礎や意思決定支援の基本的な考え方やサポートのポイントを学びました。学んだ知識で身近な人のちょっとした変化に気づくことができ、その気づきが地域へ広がることで安心して暮らせるまちを目指し取り組みました。

【実施状況】 ○権利擁護サポーター修了者 25名(社会貢献型後見人受講者含む)

【令和7年度 社会貢献型後見人養成講習及び権利擁護サポーター養成講習】

科目	内 容	時 間	講師(敬称略)
必須	社会福祉協議会 おおた成年後見センター	30分	社 協
	高齢者の理解と対象者理解(認知症)	2時間	社会福祉士
	障がい者の理解と対象者理解(知的障がい)	2時間	育成会
	障がい者の理解と対象者理解(精神障がい)	2時間	精神保健福祉士
	成年後見制度の基礎 ～成年後見制度概要と実践～	2時間	弁護士
	支援の基本的な視点～意思決定支援～	2時間30分	社会福祉士
	地域活動プログラムの紹介	30分	福祉管理課 社協
選択	本人を支える社会資源(行政機関や包括の紹介等)	2時間	地域福祉課 障がい者総合 サポートセンター
	コミュニケーション演習	1時間 30分	社会福祉士
	支援のための法律知識(民法等)	2時間	弁護士
	様々な場面における成年後見人としての対応演習	2時間	司法書士
	社会貢献型後見人(市民後見人)の活動報告	45分	市民後見人
	地域福祉権利擁護事業について	1時間	社 協

## 7 遺言公正証書等作成支援事業

遺言公正証書を作成するとき必要となる証人を確保できない方のために、無料で証人を派遣しました。

【実施状況】

○証人派遣件数 23件

# 13 リーガルサポート

## 1 区民のための無料公開講座・相談会の開催

東京司法書士会大田支部と共催で、無料公開講座『備えて安心！成年後見と登記・相続・遺言』と個別法律相談会を実施しました。

### 【実施状況】

開催日	会場	参加人数
令和8年3月22日(日)	大田区役所本庁舎	講演会 43名 個別相談 26組

## 2 福祉従事者のための専門相談

第二東京弁護士会と協力して、福祉従事者を対象として、業務に関する内容の無料法律相談を定期的に行いました。

### 【実施状況】

相談員	開催日	活動実績
弁護士	第4金曜日 15時～17時	開催回数 10回 相談件数 15件

## 3 親なきあと講演会

障害児者親の会等と共催で、身近な地域で講座を開催することにより、子の将来への備えとともに、親自身が備えるきっかけとなるよう、専門職とも連携した講演会を開催しました。

### 【実施状況】

日時	内容	参加人数	対象
令和7年6月9日(月) 13時30分～14時30分	障害のある子を持つ親の老いじたく	22名	うめのき園利用者の保護者及び職員
令和7年12月4日(木) 10時30分～12時00分		30名	大田区重症心身障害児(者)を守る会
令和8年2月27日(金) 10時30分～11時30分		13名	志茂田福祉センター利用者の保護者

# 14 老いじたく

## 1 老いじたく推進事業

「人生 100 年時代」といわれる今日、元気なときから将来に必要な備えや老後にやりたいこと、過ごし方等自分の想いを整理するとともに、権利の擁護とトラブル予防の視点を持って相談会などを開催しました。より具体的な準備に向けた一歩となるよう、「老いじたくパンフレット」の改定にも取り組みました。

### (1) 老いじたく相談会

司法書士会と協力のもと、老いじたく相談会を実施しました。相談内容は、遺言や相続、成年後見制度関係で約6割を占めています

#### 【実施状況】

実施回数 46回 相談者 80件

### (2) 【地域版】老いじたくセミナー

相続・遺言など、老いじたくに役立つ知識等を、弁護士がテキストに沿って説明するセミナーを特別出張所6か所で開催し、すべての出張所で開催しました。

#### 【実施状況】

日 時	受講者	会 場
令和7年7月8日(火) 10時00分～12時00分	30名	嶺町特別出張所
令和7年11月14日(金)10時00分～12時00分	41名	千束特別出張所
令和7年12月12日(金)10時00分～12時00分	21名	大森東特別出張所
令和8年1月16日(金)10時00分～12時00分	20名	蒲田東特別出張所
令和8年2月13日(金)10時00分～12時00分	26名	蒲田西特別出張所
令和8年3月12日(金)10時00分～12時00分	41名	池上特別出張所

### (3) 老いじたく合同相談会

老いじたく相談会に参加された方々の、多岐にわたる疑問や不安に各分野の専門職(弁護士、司法書士、公証人、税理士、宅地建物取引士)が助言する合同個別相談会を2回開催しました。

日 時	受講者	会 場
令和7年9月26日(金) 13時30分～16時30分	14組16名	消費者生活センター
令和8年3月19日(木) 13時30分～16時30分	9組11名	

# 15 重層的支援体制整備事業

===地域福祉 Co の具体的な取組===

## 1 地域づくり

### (1) たすけあいプラットフォーム事業

たすけあいプラットフォーム事業とは、地域住民、行政、地域活動団体、社会福祉法人や企業など、さまざまな人や団体が連携をして、地域の福祉課題を共有し、解決に向けて話しあいをするための場(基盤)のことです。

大田区社協では、地域の福祉課題や状況に応じて、さまざまなかたちのプラットフォームを展開しています。

既存の4つのプラットフォーム(蒲田西・矢口・六郷・池上)の他、令和7年度は新たに2つの地区でプラットフォームを立ち上げました。

#### ①南馬込たすけあいプラットフォーム

約半年間の立ち上げ準備の話し合いを経て令和7年11月にプラットフォームとして立ち上げを行いました。

当初は外国籍住民の課題や集合住宅の課題等について話し合いを行いました。現在は、立場は問わず共に暮らす住民として誰もが住みよいまちづくりをめざして話し合いを進めています。



南馬込たすけあいプラットフォーム  
「多文化共生に向けた取り組み」勉強会の様子

#### ②大森西たすけあいプラットフォーム

令和8年2月に大森西二丁目を中心にプラットフォームの立ち上げを行いました。地域包括支援センター・特別出張所・町会長・民生委員児童委員・区民活動団体・福祉施設・企業の方など様々な方が参加されました。

地域に関わる方たちと一緒に、大森西二丁目の好きなおところや課題について話し合いました。開催はまだ2回ほどですが、地域の情報の共有と、課題の解決に向けて動き出しています。

## (2) 社会福祉法人協議会と連携した地域公益的な活動

地域福祉コーディネーターは、社会福祉法人協議会と連携し、基本圏域ごとに連絡会を実施しています。

連絡会では、それぞれの圏域で地域公益的な活動について検討し、活動を行っています。

### ○調布地区

令和7年度は、昨年度に引き続き「幸せのおすそわけ会」と称したフードパントリーの取り組みを2回実施した他、6つの地域包括支援センターで食料品を集めるフードドライブの活動を行い、地域で食の循環のしくみを推進しました。

### ○大森地区

若者の孤独・孤立に着目し、「大田区若者サポートセンターフラットおおた」と社会福祉法人とが連携・協働して令和7年11月29日に「こころ彩るほくほく祭 in 大森」を開催し、若者を含めて70名の参加がありました。

今後も若者や地域に暮らす方々がゆるやかにつながるきっかけづくりを進めていきます。その他、基本圏域ごとにその地域の状況に合わせた活動を行っています。



こころ彩るほくほく祭 in 大森

## 2 おおた地域福祉フォーラムの開催・活動報告書の作成

令和7年度の活動状況等について、令和8年2月8日(日)「おおた地域福祉フォーラム」を開催しました。急な会場変更があった中69名の方にご参加いただきました。

また、「地域福祉コーディネーター活動報告書」を3,500部作成して配布しました。

地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業について、大田区社協が住民のみなさまと蓄積してきた実践経験の一部を発信し、多くの方と共有することができました。

令和7年度おおた地域福祉フォーラム

第一部：講演「多様なつながりが拓く地域共生社会の未来」

講師 永田 祐 氏(同志社大学社会学部教授、厚生労働省地域共生社会の在り方検討会議委員)

第二部：①報告「大田区地域福祉コーディネーターの活動と重点的な取組について」

「大田区地域福祉コーディネーターによる事例報告」

②グループディスカッション

「参加者同士による意見交換」



同志社大学 永田 祐 教授  
による講演の様子

## 16 歳末たすけあい運動事業

令和7年度も自治会・町会、民生委員・児童委員協議会、行政等にご協力いただき、「歳末たすけあい・地域ふれあい募金」を実施しました。

		金額	内容等
募 金 総 額		35,415,719 円	自治会・町会取扱い 35,000,435 円 窓口受付等 415,284 円
募 金 の 使 い 途	見 舞 金	1,868,620 円	①在宅で生活されている重度障害のある方 521名(@3,000円) 計 1,563,000 円 ②見舞金配送料 計 305,620 円
	事 務 費	3,535,295 円	募金袋、ポスター印刷代等
	都 共 募 納 付 金 (地域福祉活動費)	30,011,804 円	残額を東京都共同募金会に納付しました。 なお、次年度に同額が大田区社協に配分されますので、地域福祉活動の資金に充当します。

- 募金総額は、令和6年度より 1,632,719 円減となりました。
- 歳末たすけあい運動から配分される地域福祉活動費を活用して、募金が豊かな地域福祉活動を育み、地域福祉活動から生まれた成果が住民に還元する「循環のしくみ」の構築を目指しています。

### ～社会福祉協議会主催の街頭募金活動～

令和7年12月1日と2日に、街頭募金活動を行いました。JR蒲田駅と JR 大森駅のほか、新たに東急蒲田駅・京急蒲田駅でも実施しました。募金活動は、大田区社協職員とともに、歳末たすけあい運動から配分された地域福祉活動費を財源とする「地域福祉活動団体支援事業」と「つどいの場運営支援事業」で助成を受けている27団体61名の皆様が協力してくださいました。

集まった募金は地域福祉活動として地域に還元され、地域の皆様の参加と協力により、地域の中で支え合いの輪が広がっています。



街頭募金当日の様子

## 《公益事業区分》

# 17 高齢者等就労支援事業

概ね55歳以上の方を対象に、就業及び多様な地域活動等に対応できる拠点として事業を実施しました。前年度との比較において新規求職者数が減少する一方、再来求職者数が増加となりましたが、就職者数は減少しました。

### (1) 無料職業紹介事業

#### 【実施状況】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	求人開拓(件)	2,179	2,630	2,870	2,845	2,746
②	求人開拓人数(人)	5,747	6,701	6,982	7,174	6,121
③	新規求職者(人)	990	760	722	728	713
④	再来求職者(人)	1,068	1,196	1,020	861	1,048
⑤	延来所者数(人)	2,058	1,956	1,742	1,589	1,761
⑥	就職者数(人)	124	130	130	99	93
⑦	就職率(%) (⑥/③×100)	12.5	17.1	18.0	13.6	13.0

※ 個別相談(カウンセリング)の実施 66人 延118回

### (2) 就業促進事業

#### 【実施状況】

#### ① 合同就職面接会

期 間	企業数	応募者	面接者	就職者	会 場
令和7年7月23日(水)	8社	24名	延29名	5名	大田区民プラザ 展示室
令和7年12月5日(金)	8社	32名	延31名	5名	大田区民プラザ 展示室
令和8年2月9日(月)	10社	113名	延85名	10名	シニアおしごとフェア 世田谷区(アリーナホール)

#### ② 再就職支援セミナー

就業機会の促進を図るため、今後の働き方など考える際に必要な知識等に関するセミナーを実施しました。

開催日	テーマ	参加者数	会 場
令和7年7月23日(水)	60歳以降の働き方と公的年金	40名	大田区民プラザ 展示室
令和7年12月5日(金)	60歳以降の働き方と公的年金	31名	
令和8年2月9日(月)	シニアの強みを面談で伝えるコツ	113名	シニアおしごとフェア 世田谷区(アリーナホール)

③ 就労出張相談会

相談員が地域に出向き、高齢者等を対象に就労等社会参加についての相談会を実施しました。

開催日	開催時間	参加者数	会場
令和7年10月2日(木)、3日(金)、6日(月)	10時～16時	16名	大田区役所 1F ロビー
令和8年3月2日(月)、3日(火)、4日(水)	10時～16時	29名	

(3) 多様な働き方に対する支援事業

社会参加活動等、多様な働き方を希望する方に対しての相談や情報提供を行いました。

- ① 相談者数 610名(前年度 543名)
- ② 地域包括支援センター(入新井)実施「フレイル予防講座」  
事業説明 1回 16人参加

## 18 要介護認定調査事業

介護保険法に基づく要介護認定調査を、区を含む地方公共団体から受託して実施しました。

	件数	受託内容等
受託件数	9,947件	新規 4,151件 更新 3,594件 区分変更 2,202件
大田区	9,944件	新規 4,148件 更新 3,594件 区分変更 2,202件
他区市町村	3件	新規 3件 更新 0件 区分変更 0件

### 《収益事業区分》

## 19 緊急通報サービス紹介事業

緊急通報サービスを提供する事業者に対して、サービスを希望する住民を紹介し、利用希望者と当該事業者間で契約が結ばれたときは、当該事業者から大田区社協に紹介料が支払われます。収益は、社会福祉事業等の資金に充当しています。

○紹介・契約件数 23件 (収入額 214,500円)

\*上記の事業報告書に加えて、補足すべき重要な事項はないので、定款第38条第1項第2号に定める附属明細書は作成していません。